

事務事業名		女性セミナー事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業							
政策体系	政策名	016 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目							
	施策名	215 生涯学習の推進											
	基本事業名	012 市民の学習活動への支援		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和60 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01	10	05	04	04			
根拠法令													
所属	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課											
	係名	中央公民館	電話 内線	26-3166									
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画 (期間限定複数年度のみ)							
<p>・女性に関する多様な学習機会を提供し、女性の資質・教養の向上に資する事業。          ・事業の内容は、前年までは地区指定を行い、学習計画を運営委員会で立案し、ガーデニング、礼儀作法、介護、料理など講座の開催を行ってきた。本年度からは中央開催のみとし、講演会1回と講座を3回行う。          ・主な業務は、運営委員会の開催、学習計画の立案、講師の依頼、開級式・閉級式の開催、謝金等の支払いなどの講座を開催する。          ・事業費は、講師謝金・旅費、紙代などに支出される。</p>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金					
							人件費	財源内訳	都道府県支出金				
								地方債					
								その他					
								一般財源					
事業費計 (A)					0								
正規職員従事人数													
延べ業務時間													
人件費計 (B)						0							
トータルコスト(A) + (B)						0							

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)									
<p>手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 地区毎に運営委員会の開催、講座の開設 (6月から11月まで毎月1回程度)。大船渡上地区、末崎地区、蛸ノ浦地区、猪川地区、立根地区、越喜来地区で実施。</p> <p>今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 事業の進め方はほぼ前年と同様、講座の開設は、9月から10月に1回程度。中央開催のみとする。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 運営委員会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 講座開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 運営委員会開催回数	回	イ 講座開催回数	回	ウ	
名称	単位										
ア 運営委員会開催回数	回										
イ 講座開催回数	回										
ウ											
<p>対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・開設地区内の主に15歳以上の女性</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 対象地域女性人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 実講座参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	カ 対象地域女性人口	人	キ 実講座参加者数	人	ク	
名称	単位										
カ 対象地域女性人口	人										
キ 実講座参加者数	人										
ク											
<p>意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・学習活動を通じて、できるだけ多くの方に、女性として必要な教養を自発的に身につける機会作りを行う。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 次回も参加したいと感じた参加者の割合 (どちらとも言えないを含む)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ はじめて参加した参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス のべ講座参加者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	サ 次回も参加したいと感じた参加者の割合 (どちらとも言えないを含む)	%	シ はじめて参加した参加者数	人	ス のべ講座参加者数	人
名称	単位										
サ 次回も参加したいと感じた参加者の割合 (どちらとも言えないを含む)	%										
シ はじめて参加した参加者数	人										
ス のべ講座参加者数	人										
<p>結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上がなされている。 ・主体的な学習活動が行われている。</p>											

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	
投入量	事業費	単位							
		千円							
		都道府県支出金							
		地方債							
		その他							
	一般財源		187	191	175	163	93	93	
	事業費計 (A)		187	191	175	163	93	93	
	人件費	正規職員従事人数	人	5	6	5	6	2	2
	延べ業務時間	時間	60	50	40	130	30	25	
	人件費計 (B)	千円	240	200	160	520	120	100	
トータルコスト(A) + (B)		千円	427	391	335	683	213	193	
活動指標	ア	回	5	6	5	6	1	1	
	イ	回	24	30	21	25	4	4	
	ウ								
対象指標	カ	人	13280	15850	14340	14090	13840	13590	
	キ	人	302	451	297	392	100	110	
	ク								
成果指標	サ	%	99.5	99.0	97.2	97.0	98	98	
	シ	人	48	55	40	50	10	15	
	ス	人	888	1153	733	887	170	180	

事務事業ID	0865	事務事業名	女性セミナー事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 家庭等に入り子育てなどで学習機会に恵まれない女性等を対象に、多様な学習機会を提供するため昭和60年度より開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 講座への出席率も高く、ほぼ皆勤で終了している。内容も現代的に変化しつつあり、介護や防災、料理、健康問題など身近な問題についての学習要望が増加しつつある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 参加者からは、毎回好評を得ており、継続して実施して欲しいと要望を受けている。一方、市民・くらしの講座と統合すべきとの意見も、市立公民館運営審議会等の場で議論された。それへの反対意見として、「実施地域の細分化(現在は地区公民館単位)により、よりきめ細かい対象者に学習の機会が提供できるのではないか。」との意見もある。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 女性の社会参画の推進などに結びついている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 女性同士の学習の中で、社会的な問題等について学習を進めることにより、心豊かな生活や、豊かな人間性を養うことを目的としているため、女性への学習支援は必要である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 女性のみを対象とした学習機会の提供は他に実施していないため。ただし、講師の都合により、講座については、人数の制限を設けざるを得ない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 実施地域の細分化(現在は地区公民館単位)により、よりきめ細かい対象者に学習の機会が提供できる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 女性への学習機会の提供が減少することにより、継続実施の要望に応えることが出来なくなる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ↘ 市民・くらしの講座事業へ女性のみを対象としない本事業の一部を統合・移管する。  <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘ 女性のみまたは、地域公民館を単位とした対象とした学習機会の提供は他に実施していないが、成人を対象とした「市民・くらしの講座」により、現状の成果を維持を目指しながら統合できる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 前年までの手法では、必要最低限の事業費(講師謝金)で実施している状況にあるため、削減は難しい。ただし、現在の成果指標によると一時的に成果は下がるが、事業の一部統合による事業費の削減が可能である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 地区女性団体の協力を受けながら実施しているため、これ以上の業務所要時間の削減は難しい。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 参加者からの負担を得ながら進めている内容も多くある。特に教材費などについては受益者の負担となっており、一般財源と受益者負担との配分は公平である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0865	事務事業名	女性セミナー事業
--------	------	-------	----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>事業の内容等については、住民による運営委員会を経て決定しており、内容もほぼ計画通り進められている。女性の視点による日常生活における学習機会の提供について、今後も引き続き実施していく。幅広い年代層に受け入れられ、かつ若い女性にも興味を抱かせる魅力ある講座を検討する。また、「実施地域の細分化による、よりきめ細かい対象者に学習の機会が提供できる。」との声もあるが、成果の参加者数の一時的な減少を生じるが、対象を限定する必要がない一部の事業について、今年度から市民・くらしの講座と統合することを検討する。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>今年度から事業の一部を市民・くらしの講座事業に統合・移管する。この場合、統合により事業費、人件費を削減する。次年度以降は、改善した今年度のやり方の成果等の推移を見つつ、必要に応じてさらに多くの対象者が参加し、質の高い事業ができるような改善を進めている。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>引き続き、気軽に参加できる事業の推進体制を確立していく。対象を区別化することも含め、特に若い世代の参加を取り込みながら、幅広い年代の参加促進が期待できる事業内容の検討を運営委員会や生涯学習活動に積極的に取り組もうとしている若い世代を加えて検討していく。なお、今までの評価との比較から現在の成果指標を使用しているため見かけ上一時的に成果は下がってしまう。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>同種事業との統合により有効性見直しの余地がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>継続して事務事業を実施するが、同種事業との統合を図る。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------